

Smile Food Project

活動のご報告

このたびの新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになった方々に謹んでお悔やみ申し上げます。また罹患され闘病中の方々とご家族、および関係者の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

一般社団法人Chefs for the Blue、株式会社CITABRIA、株式会社NKBは4月8日より三社合同でSmile Food Project(スマイルフードプロジェクト)を立ち上げ、新型コロナウイルスと最前線で対峙してくださっている医療機関の皆さまに、シェフがつくるお弁当をお届けしてまいりました。本プロジェクトに対してご寄付・ご協賛・食材支援のかたちでご支援くださり、活動を温かく支えてくださった皆さまにはメンバー一同、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

私たちはスタート当時、活動の目標として20,000食のお届けを目安として設定いたしました。以来、3ヶ月半の時を経てその地点に至ったことを受け、7月17日(金)のお届けをもって本プロジェクトをいったん終了させていただくことになりました。つきましてはこれまでの活動状況につき、次のようにご報告申し上げます。

《お弁当の提供状況》

- 提供週数:14週間(4/13~7/17)
- 提供お弁当数:21,086食
- 配送延べ回数:172回
- 提供医療機関数:38機関 (うち一部の医療機関を下にご紹介いたします。)
 - ・いずみ記念病院(東京都足立区)
 - ・永寿総合病院(東京都台東区)
 - ・神奈川県立循環器呼吸器病センター(神奈川県横浜市)
 - ・河北総合病院(東京都杉並区)
 - ・慶應義塾大学病院(東京都新宿区)
 - ・国立病院機構東京医療センター(東京都目黒区)
 - ・座間総合病院(神奈川県座間市)
 - ・順天堂大学医学部附属順天堂医院(東京都文京区)
 - ・順天堂大学医学部附属練馬病院(東京都練馬区)
 - ・聖マリアンナ医科大学病院(神奈川県川崎市)
 - ・聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院(神奈川県横浜市)
 - ・聖路加国際病院(東京都中央区)
 - ・東京医科歯科大学医学部附属病院(東京都文京区)
 - ・東京医科大学病院(東京都新宿区)
 - ・東京大学医学部附属病院(東京都文京区)
 - ・東京都済生会向島病院(東京都墨田区)
 - ・横浜市立みなと赤十字病院(神奈川県横浜市)
 - ・横浜労災病院(神奈川県横浜市) ほか多数 (敬称略・五十音順)

お弁当お届け期間中には、多くの現場の声を伺う機会がありました。最前線で逼迫した状況にあっても、医療機関の皆さまが患者様それぞれに寄り添い、向き合い、誠実に治療にあたっていたらっしゃることを知り、せめておいしいお弁当で英気を養っていただきたいと、皆で背筋を伸ばし活動してまいりました。また多くの医療機関様からの心温まるお礼メッセージをいただいた折には、ご支援くださった皆さまのお心に恥じぬよう、さらにもっと喜んでもらえる支援にしていこう、と都度思いを新たにしてきました。私たち三社にとって今回の活動は、“食が持つ力”をあらためて見つめる機会ともなりました。

パンデミックの収束を心から願い、この活動報告にてお弁当のお届けをいったん終了させていただきますが、本プロジェクトで得た仕組みや絆を今後に繋げていけるよう、メンバー一同日々考えてまいります。特にプロジェクト終了日を決定した6月20日頃以降、日本各地で感染者数が増加トレンドにあることも気がかりです。

2020年、新型コロナウイルスは私たちの生活様式そのものを一変させてしまいました。新しい“ノーマル”に向けて、私たちも飲食業界のあるべきかたちを探るべく、今後もさらに邁進してまいります。あらためて、Smile Food Projectに対するご理解とご協力を賜った皆さまにお礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2020年7月23日

Smile Food Projectメンバー一同